

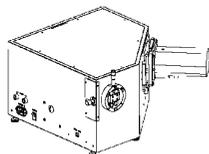
型 式	MK-300 イメージング分光器
逆線分散	2.58nm/mm
光学系	収差補正型特殊光学系
明るさ	F=4.4
波長分解能	半値幅 0.2nm (3pixels以内)
迷光	5×10^{-3} 以下
波長正確さ	± 0.2 nm (3pixels以内)
波長再現性	± 0.2 nm (3pixels以内)
回折格子切換再現性	± 0.2 nm (3pixels以内)
光学的波長範囲	200~1000nm ※回折格子1200本/mmの場合
機械的波長範囲	0~1200nm
波長移動方式	サインバー機構、波長リニア移動
波長駆動方式	ステッピングモータ駆動 (PC・専用ソフト制御)
回折格子	刻線有効50×50mm
回折格子切換方式	ステッピングモータ駆動 (最大3枚まで搭載可能)
入射スリット	幅0.01~4mm (両開対称連続可変・最少目盛0.01mm)
シャッター	手動シャッター (自動シャッターはオプション)
ソフトウェア	回折格子切換・波長移動 (USB接続)

※回折格子1200本/mm スリット幅設定0.01mm
 CCD検知器受光サイズ26.6mm(1024×256pixels 26μm/pixels)の場合

標準構成内容

1. 分光器本体 (コントローラ込、回折格子別途)
2. 入射スリット
3. 手動シャッター
4. CCD検知器取付用ホルダ
5. ソフトウェア
6. 接続ケーブル

外形寸法 (単位:mm)



W415×D400×H270mm 約20kg
 ※上図で、CCD検知器は本体に付属致しません。

オプション

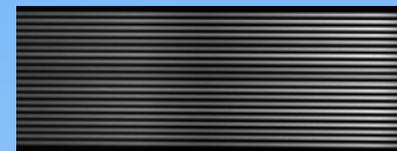
1. 回折格子 (ホルダ付)
2. ファイバホルダ
3. XY調整機構付ファイバホルダ
4. 自動シャッター
5. フィルタホルダ
6. 低圧水銀ランプホルダ (波長校正用)

●記載の仕様および外観は予告なしに変更する場合があります

BUNKOUKEIKI 分光計器株式会社
[http:// www.bunkoukeiki.co.jp/](http://www.bunkoukeiki.co.jp/)

本社・工場 TEL 042-646-4123 〒192-0033 東京都八王子市高倉町4-8
 東日本営業所 TEL 03-3837-1021 〒113-0034 東京都文京区湯島3-23-1 (天神弥栄興産ビル4階)
 西日本営業所 TEL 06-6323-4502 〒533-0014 大阪府大阪市東淀川区豊新3-24-5 (クリスタルビル2階)

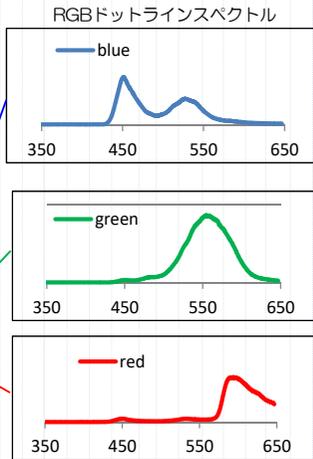
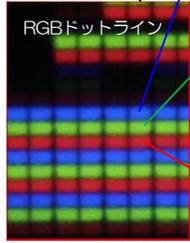
MK-300 イメージング分光器



- 新設計光学系採用のイメージング分光器
- 非点収差を極限まで減らし、波長両端で発生していた解像度低下を大幅に改善
- 回折格子は最大3枚搭載可能
- 多点同時分光スペクトル測定に最適
- 観察画像の分光スペクトル測定に最適
- 2検知器切換タイプもラインナップしています。

BUNKOUKEIKI
 分光計器

MK-300 イメージング分光器



※写真のCCD検知器は、本体に付属致しません。

本装置は、新設計の収差補正光学系採用により、CCD検出受光面全域にて空間分解能に優れたポリクロメータです。

CCD検出器(別途)を取り付けることにより、分岐バンドル光ファイバ等を用いた多点同時分光測定や、顕微鏡との接続による分光測定等に最適です。

回折格子は最大3枚まで搭載可能で、電気系コントローラを搭載しており、USBケーブルでPCと接続し付属の専用ソフトにて波長移動及び回折格子切替を行うことができます。

従来のポリクロメータとMK-300の比較

受光サイズ 約26.6mm×6.6mm

＜水銀ランプ等の光を光ファイバでイメージ測定した場合＞

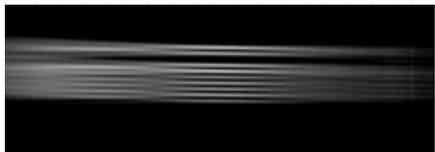


検知器受光面の中心は良いが、両端では空間分解能が低下している。



検知器受光面のどの場所でも空間分解能に優れている。

＜ハロゲンランプのような連続光源を光ファイバでイメージ測定した場合＞

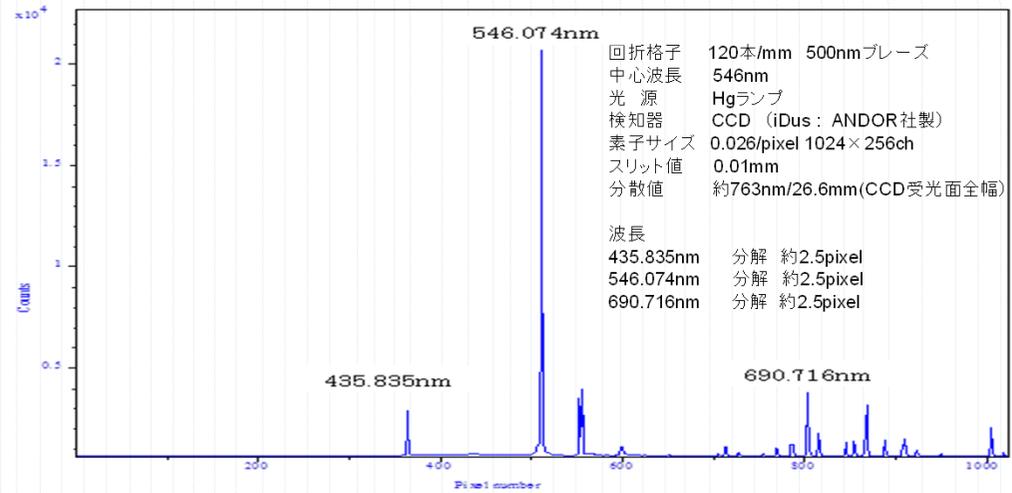


検知器受光面の中心は良いが、両端では空間分解能が低下している。



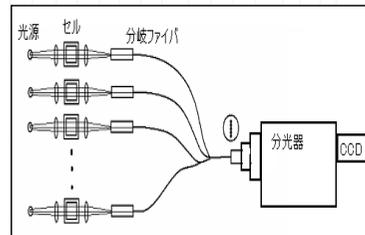
検知器受光面のどの場所でも空間分解能に優れている。

測定データ



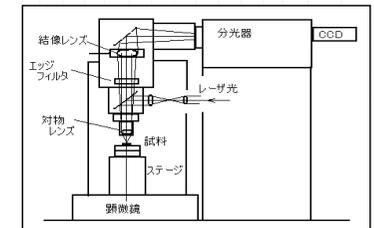
用途

多点同時分光スペクトル測定



複数の試料や複数の個所の発光を分岐ファイバ等で1台の分光器に導入し、同時に分光スペクトル測定が行えます。

観察画像の分光スペクトル測定



顕微鏡やカメラレンズ等により観察される画像を分光器に導入し、各箇所の分光スペクトル測定が行えます。

回折格子最大3枚搭載可能

最大3枚搭載の回折格子は、専用ソフトで自動切替が出来ます。広帯域測定、高分解能測定が1台で可能です。

【回折格子選定例】

回折格子本数	測定波長範囲
1800本/mm	35nm
1200本/mm	60nm
600本/mm	130nm
300本/mm	265nm
150本/mm	535nm

専用ソフトで切替

